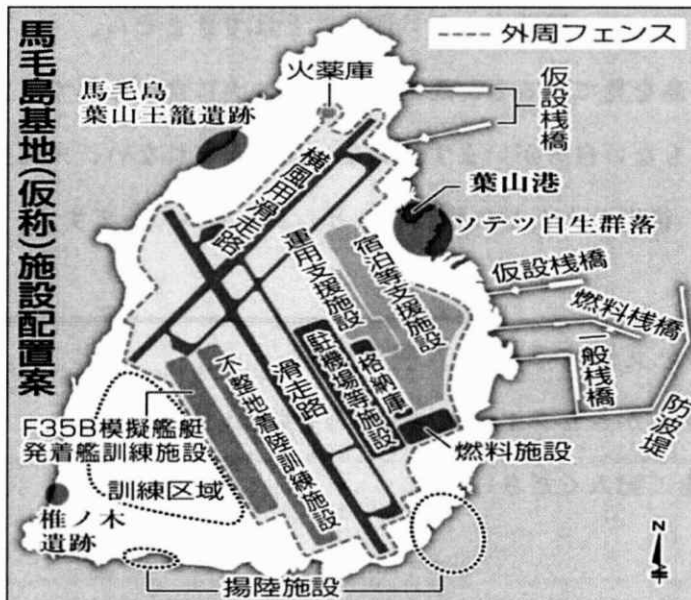


# 馬毛島基地反対裁判へのご支援を！



岸田政権が「軍事費43兆円の枠外」で8800億円以上をつぎこみ強行し、2025年にも米軍が訓練予定。

2023年12月に始まった「馬毛島基地反対住民訴訟」では、鹿児島県の西之表市の市長が公約に反して突然行った馬毛島の小中学校跡地および自衛隊宿舎用地の売却ならびに市道廃止処分について、原告30名が違法性を追及しています。また、2024年3月、漁業者1人が漁協による漁業権放棄は無効だとして差止訴訟を始めました。さらに、市民らによる人格権に基づく差止訴訟も検討中ですが、人手もお金も足りていません。

ぜひご支援をよろしくお願いいたします！

## 【送金先】

鹿児島銀行 本店

普通預金 3235521

「馬毛島基地反対裁判を支援する会」

個人1口1000円、団体1口5000円

【発行】馬毛島基地反対裁判を支援する会  
共同代表 平井一臣、松下賢治

協力 島じまスタンディング

【連絡先】日本国民救援会鹿児島本部  
鹿児島県鹿児島市鴨池2丁目14-20  
電話・FAXとも 099-298-5161  
メール kyuenkaikaikagosima@yahoo.co.jp

【原告の意見陳述より】

住民訴訟原告団長 和田 香穂里（前西之表市議会議員）



私たち市民が失ったものは、単なる土地や道路ではありません。「宝の島」馬毛島がもたらすはかり知れない豊かな未来と、それを夢見て実現していくであろう子どもたち孫たちに手渡す、馬毛島・種子島の静かで平和な暮らしです。

八板俊輔西之表市長の行為と、そこに至るまでの公約違反や説明責任の放棄は、民主主義と地方自治の根幹を揺るがすものであり、黙って見過ごすことはできません。私たちの馬毛島を返して！の言葉の重さを真摯に受け止めてください。

住民訴訟原告・漁業者差止訴訟原告 濱田 純男（漁業者）



漁協は漁業権の一部放棄と漁業制限を受け入れてしまいましたが、馬毛島周辺で漁をしていない組合員も含まれる漁協の多数決で決められることではないと思います。私は今も反対しています。補償金も受け取ることはできません。

軍事基地化していく馬毛島を見ていると、馬毛島がハイエナに食べられて泣いているようで、どうしようもない自分がいます。お金には変えられない、大切なものを失いかけています。この美しい宝の島を、後世の人たちに残したいと心から思っています。

馬毛島基地反対裁判を支援する会 入会申込書



←事務負担軽減のため、できるかぎりフォームへの入力をお願いします。

入力が難しい方は、以下をご記入ください。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

氏名・団体名 \_\_\_\_\_ 所属・職業等 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_

会費 \_\_\_\_\_ 円（ \_\_\_\_\_ 口） 領収書 不要 受取済 後日

チラシやホームページへの掲載 可 不可